

令和4年度 山梨県立上野原高等学校学校評価 実施報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	校訓「叡知創造」の精神のもと、21世紀をたくましく、心豊かに生き抜き、社会の進展や調和に貢献できる人間を目指す		山梨県立上野原高等学校校長 小笠原 宏
本年度の重点目標	1 基本的な生活習慣の確立と、安全管理・規範意識の高揚を図る指導に努める。 2 学習習慣の確立と確かな学力の定着を図り、個々に応じた進路実現をめざしたキャリア教育の充実を図る。 3 生徒会活動を活性化するとともに、諸活動をとおして心身の健やかな成長を図る指導に努める。	A ほぼ達成できた。(8割以上) B 概ね達成できた。(6割以上) C 不十分である。(4割以上) D 達成できなかった。(4割以下)	(評価点) 報告書に記載した数値は原則これである。R3評価→R4評価[増減] 評価点は、回答%に係数を乗算した総和(計算式) 中央値は(0)となる
			4 良くできている。 3 できている。 2 あまりできていない。 1 できていない。

番号	本年度の重点目標			自己評価		学校関係者評価		
	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	年度末評価(3月31日現在)		実施日(平成5年3月15日)		
				自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	基本的な生活習慣の確立と、安全管理・規範意識の高揚を図る指導に努める。	① 自己管理能力の育成を図り、遅刻や欠席、朝食の欠食を減らす基本的な生活習慣の確立を図る指導 ② 法令遵守及び社会規範への意識を高め、確立を図る指導 ③ 節電・節水、ごみの分別などを通じて、環境美化を意識させる指導	学校評価アンケート等 学校評価アンケート等 学校評価アンケート等	以下、生徒評価、教員評価、保護者評価の上位3項目、下位3項目のうち、この評価項目1に該当する結果のみ示す。(数字)は順位 []は評価点 上位3項目 【教員評価】 ②感染症対策[61] 【生徒評価】 (1)開始時刻着席 [89] ②校則を守る [82] ③校則の内容理解 [80] (保護者評価) ①毎日朝食摂取 [61] ③校則規範意識 [56] 下位3項目 【教員評価】 該当項目なし 【生徒評価】 該当項目なし (保護者評価) ③災害対処話し合い [14]	A	昨年度から改善した項目 【教員評価】 ・節電節水やゴミの分別 33→55 [+22] ・校則規範意識の育成 28→41 [+13] 【生徒評価】 ・避難経路の把握 51→58 [+7] 次年度改善を要する課題 【教員評価】 該当項目なし 【生徒評価】 該当項目なし 令和3年度に比べて、評価項目に大きな変化があったのは、上記の2項目であった。SDGsの考えが生徒に浸透し、身の回りの環境を自分たちで整える意識が向上したと考えられる。校則に対する規範意識については、生徒と教員の意識の違いはあるが、今後もルールの意味について話し合いを継続する必要がある相互理解を深めたい。	3	◎校則は非常に重要であり、先生と生徒がより良い方向に向き合い話し合うことが重要である。基本的な生活習慣に則した指導をしてほしい。 ◎首都圏直下型地震、南海トラフ地震等近い将来に発生する災害を想定した防災避難訓練の実施を希望する。
2	学習習慣の確立と確かな学力の定着を図る。個々に応じた進路実現をめざしたキャリア教育の充実を図る。	① 家庭学習と授業の一体化を進め、確かな学力の定着を図ると共に、学ぶ意欲を高め、主体的・協動的な学びを深める指導 ② 相談活動及び個々に応じた指導の充実を図り、個々のキャリアを形成していく進路実現を図る指導 ③ 主権者教育や社会参画・地域連携事業を通して、未来を担う公民としての資質を育む指導	授業アンケート等 産業社会と人間、総合的な学習の時間での指導 行事アンケート等	以下、生徒評価、教員評価、保護者評価の上位3項目、下位3項目のうち、この評価項目1に該当する結果のみ示す。(数字)は順位 []は評価点 上位3項目 【教員評価】 該当項目なし 【生徒評価】 該当項目なし (保護者評価) ②進路プランが生徒に合う[57] 下位3項目 【教員評価】 (1)家庭学習と授業の一体化[4] ②ICTを活用した学習[27] ②発展的な学習指導[27] 【生徒評価】 (1)自主的な学習習慣[23] ③授業計画の把握[51] (保護者評価) 該当項目なし	B	昨年度から改善した項目 【教員評価】 該当項目なし 【生徒評価】 該当項目なし 次年度改善を要する課題 【教員評価】 ・補充的学習指導 40→30 [-10] ・基礎基本の定着を図る 57→47 [-10] 【生徒評価】 該当項目なし 教員評価の「授業と家庭学習の一体化」は、評価点1桁前後で長年推移してきた。補充的な学習指導に時間がかかり、基礎学力定着のために家庭学習と結びつけさせる段階に至っていないことを示唆する。 ICTの活用は、直接生徒とつながる仕組みなので、今後もオンラインを通じて学習支援の仕組みを活用促進することが課題である。R5年度より、1年2年次生にBYODが導入される。個別最適な学びも従来よりも仕組みが作り易くなった。実現のためには、教員のみならず生徒の情報リテラシーの向上も同時に育成する事が重要である。授業と家庭学習の一体化をさらに進めながら、望ましい学習習慣の確立と確かな基礎学力の育成を目指す。	2	◎現在の中学生は、進路選択の幅が広がり、高校を選ぶ際にしっかり考える傾向がある。なので生徒目線で生徒に寄り添った、個々の生徒の進路指導を充実させる事が、学校の強みになる。就職から大学進学まで全てを網羅し指導してきた成果と考える。 ◎学習を自分事と捉え客観的に振り返る指導が必要と思われる。また学力差が大きい場合、これまでのような教師主導の一斉授業では効果が得られない場合も多い。教師の意識改革が重要であり、生徒に則した興味関心を高める授業展開を新たに生み出すことが必要と思う。 ◎ICTの普及によって知識の共有は瞬時であるので、その利点を活かした授業が望ましいと思う。
3	生徒会活動を活性化するとともに、諸活動をおして心身の健やかな成長を図る指導に努める。	① 文武両道の実践に向けた指導と各部の目標達成への積極的且つ規律ある部活動の指導 ② ホームルーム活動をおして活力あるクラスづくりを目指すと共に、いじめをなくし生命と人格を尊重する態度を育てる指導 ③ 集団活動や種々の読書活動をおして、思考力・判断力・表現力などの育成を図り、他と協働し協力し合うなど、思いやりのある心育てる指導	学校評価アンケート等 心ボックスやいじめアンケートの活用 学校評価アンケート等	以下、生徒評価、教員評価、保護者評価の上位3項目、下位3項目のうち、この評価項目1に該当する結果のみ示す。(数字)は順位 []は評価点 上位3項目 【教員評価】 (1)カウンセリングマインドを持った対応[62] ②感染症対策[61] ③朝の活動への取り組み[60] 【生徒評価】 該当項目なし (保護者評価) ①保護者の意見が言える[59] 下位3項目 【教員評価】 ②文武両道の指導[22] 【生徒評価】 ②部活動への積極的な参加[41] (保護者評価) ①家庭での読書[-18] ②PTA活動への関心[-9]	B	昨年度から改善した項目 【教員評価】 ・スマホやSNSに関する指導 5→32 [+27] ・活力あるクラスづくり 33→57 [+24] ・カウンセリングマインドを持った対応 49→62 [+13] ・いじめや不登校防止の指導 30→43 [+13] ・文武両道の指導 9→22 [+13] 【生徒評価】 ・生徒会活動やクラスの結束 65→78 [+13] ・楽しい学校生活を送れる 63→71 [+8] ・いじめや不登校防止の指導 55→62 [+7] 次年度改善を要する課題 【教員評価】 該当項目なし 【生徒評価】 ・部活動への積極的な参加 54→41 [-13] ・感染症対策 78→65 [-13] 長期にわたる感染対策のため多くの生徒会活動が制限されてきた。一方で今年度は徐々に従来の教育活動に戻りつつあったので、多くの評価項目でプラスの評価が増加した。部活動に関しては、生徒数の減少が背景にあり、十分の活動に至らなかった点は次年度への課題である。	3	◎総合学科発表会に臨む生徒たちの目の輝きは素晴らしい、将来の夢を確実に描けていると感じた。 ◎高校の取り組みについて、中学生が知る機会が少ないと思う。総合学科の魅力や高校生がどのような学びをして夢の実現に近づけているのか伝える機会があると良い。中学校と年数交流できる時間を作り実現させてほしい。 ◎読書やICTの活用など、コロナ禍の困難な状況の中でよく努力されていると思う。全体として高く評価できる運営である。
4	教職員の働き方改革を進める。	ICTの利活用を促進し、日業務や授業準備などに係る時間短縮と効率化を図る取り組み	職員アンケート等	【教員評価】 業務改善と効率化の取り組み[53]	A	令和3年度は評価点8点と低迷したが、今年度大きく評価が向上した。ICTの校務や授業での活用が進み、ペーパーレスや時間短縮が図れるようになったと思われる。	4	今後も業務の効率化に取り組むこと。

※※※ (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。